

2015年度報告 知的財産

知的財産を重要な経営資源と位置付け、事業戦略・研究開発戦略と連動した知的財産戦略の取り組みを推進し、グローバルでの事業の強化・拡大に貢献しています。

知的財産方針

- 事業の企画や研究開発の源流に入り込んだ知的財産活動の強化
- 海外知的財産の制度・実態の把握と対応、および海外拠点における知的財産活動の強化
- 国際標準化活動の推進

2015年度の主な取り組み

事業の企画や研究開発の源流に入り込んだ知的財産活動

エネルギー関連事業とパワーエレクトロニクス関連事業を中心とした特許出願に注力しました。また、研究開発着手前のテーマ企画の段階から、事業・開発の方向性を確認して特許の分析・調査に基づく知財戦略を立案するとともに、事業上優位な特許群を構築しました。

今後も事業・開発部門と連携した取り組みを強化し、保有している知的財産の積極的な活用を図っていきます。

主な特許出願分野

- パワエレ製品の高効率化、省エネ化の特許
- SiC関連技術をはじめとする半導体に関する特許
- 自動販売機に関する特許

グローバル化に対応した知的財産活動

グローバルでの知的財産活動を強化しており、事業における知的財産リスクを低減するために、海外知的財産の調査、模倣品対策を継続して行っています。

2015年度は、中国において現地の知財部門が主体となり、発明の発掘活動や模倣品対策などに取り組むとともに、マレーシアなどアジア諸国で、国に応じた技術流出対策などの整備を進めました。

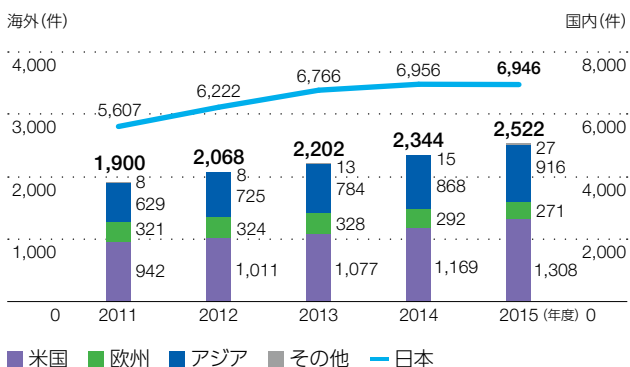
さらに、IEC(国際電気標準会議)における無線障害に関する委員会に国際副幹事を輩出し、国際会議を招聘するなど、国際標準化活動に積極的に貢献しています。

今後も海外における知的財産活動を強化していくとともに、戦略的に国際標準化に取り組みます。



富士電機(中国)社における特許ミーティングの様子

国内・海外の特許保有件数



国内・海外の特許出願件数

